

2013年12月 2日 東京芸術文化評議会

評議員・三枝成彰（作曲家）からのご提案

1. 世界180カ国の人たちと、料理やお酒を通じてなかよくなるろう！

～いまだかつてない180カ国料理のレストラン＝巨大屋台村を建設～

いまや東京は、世界各国の人々が行きかい、働き、学び、住まう大規模な国際都市です。各国の文化の違いをもっとも手軽に感じることができるのは、“食”だと思います。オリンピックの本番さながらに、世界180カ国の文化＝料理を味わえる空間を作る試みは、東京にこそふさわしいでしょう。都心に、各国を代表する料理や飲み物を安価で提供する巨大な屋台村を作り、そこで180の国出身の男性・女性が、さまざまな食べ物とお酒でお客様をもてなします。

このレストランでの交流を通じてある国の人たちのことを好きになれば、オリンピックでその国を応援してみようという人も出てくるでしょう。この屋台村は、食を通じた相互理解を演出する空間なのです。

2. 都営交通の終夜運転！～24時間稼働する街・東京が、人々を呼びこむ～

オリンピック開催期間とそれ以前の数カ月間、都営の電車・バスの終夜運転をしてはいかがでしょうか。どこに行くにも帰りの電車やバスの時間を気にしながらでは、東京を訪れる多くの人たちがゆっくりお食事や買い物、エンターテインメントを楽しめないことが多いと思います。できることなら、このオリンピック開催を契機として、恒常的な都営交通の24時間稼働が実現できれば、都民はもちろん、東京に通勤・通学する人たちや、東京に買い物にくる人たち、地方や海外からの観光客などにも、“24時間動き続ける街”として大きなアピールができ、都内および東京に隣接する自治体の飲食業・小売業・流通業などの活性化にもつながるのではないかと思います。

例えば、今までは一晩に1回転しかお客様を入れられなかったレストランが、都営交通の終夜運転が実現することで2回転することができれば、売り上げが上って繁盛し、高級なお店も半値で料理を提供することができるようになるかもしれないのです。

3. 東京のオーケストラを世界へ！

日本のオーケストラの演奏は、明治時代の洋楽導入から140年を経たいま、まちがいなく世界の中の五本指に数えられるレベルにあると思います。オリンピックでいえば金メダル候補です。それに東京圏内には10を越える2000人規模のコンサートホールがあり、8から10団体ものプロオーケストラがあって、毎日公演を行っています。これはベルリンやニューヨーク、パリやミラノとは比較にならぬ充実ぶりで、東京のようにさまざまな音楽を聴く機会に恵まれた首都を持つ国は世界にありません。そこで、東京にある優秀なプロ・オーケストラからメンバーを選抜し、海外へ派遣してコンサートを行います。各国からの出演依頼も受け付けます。

4. 東京の街をアウトドアギャラリーに生まれ変わらせよう！～大写真・絵画展

東京の街が、ギャラリーに生まれ変わります。都内のいろいろな街の通りの壁をそのままギャラリーにして、一般公募した写真を展示します。写真のテーマは、“私の TOKYO”です。東京に住む人、通勤・通学する人たち、そして地方や海外に住む人からも、それぞれに思い描く東京のイメージを自由に写真を取ってもらうことで、人々の心に息づくいくつもの TOKYO を見てみたいという催しです。あわせて同じ要領で TOKYO をテーマにした絵画作品も受けつけることにすれば、より応募者の幅が広がると思います。

5. 新作オペラ「平家物語」～4夜連続、世界に類例のない16時間の大作！～

私が作曲する新作オペラです。どなたでもご存じの「平家物語」をもとにした4夜連続、合計16時間の上演を考えております。あのリヒャルト・ワーグナーの「ニーベルングの指環」4部作を超える長さとなり、世界に類例のないものとなります。平家一族が治める前の平安時代は平和でした。ところが、源氏や平家という武士が力を持つことによって、血なまぐさい戦乱の時代が幕を開けるのです。その後の日本の歴史は戦いの時代の平和の時代を繰り返してきたことがわかります。最後の戦いは太平洋線王と第二次世界大戦で、その68年にわたって平和が続いていますが、このオペラはいま私たちが「平家物語」を見直すことによって、日本人が過ちを繰り返すことなく、さらなる世界平和の存続に貢献できるよう願う意図をもって制作するものです。

6. 世界の作曲家にオリンピック記念の曲を発注！

～世界の国々から平和の式典に寄せる音楽のメッセージを～

1940（昭和15）年に国の行事として行われた「紀元二千六百年」を記念した多くの行事が行われました。その中に、当時一流のブリテンやリヒャルト・シュトラウスら世界6カ国の作曲家に奉祝曲の作曲を委嘱した記念演奏会がありました。

当時は日本の建国を祝う作品としての委嘱でしたが、今回の東京オリンピックにおいては、世界平和の式典としてのオリンピックを祝う曲を、世界のクラシック、ポップスなどの作曲家・ミュージシャンに依頼して作曲していただきます。

音楽を通じた平和へのメッセージが、世界各国から東京に集まります。

以上